

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
癰瘍剤 外瘍剤 (陽証) 10		
せんそがん 蟾酥丸	解毒消腫・活血定痛	蟾酥6g・軽粉1.5g・枯礬・寒水石・銅緑・乳香・没薬・胆礬・麝香各3g・雄黄6g・蝸牛21個・朱砂9g 蝸牛を碎いて蟾酥と混じ、各薬物の粉末と共に丸にし、1回3gを酒で服用する。
外科正宗	主治は、疔瘡、発背、腦疽、附骨疽、乳癰など一切の悪瘡。 解毒散腫、止痛の蟾酥、活血消腫、止痛の乳香・没薬、燥湿祛痰、蝕悪肉の軽粉・枯礬・胆礬、殺虫、療悪瘡の銅緑、解毒化瘀の雄黄、開通経絡の麝香、清熱解毒の寒水石・蝸牛、解毒安神の朱砂からなる。 薬力が猛烈なので気血虚弱、妊婦には用いない。	